

新琴似小学校 いじめ等防止基本方針

(自殺予防に関わる取組の強化体制)

- いじめ等が発生しない学校風土をつくるために、教職員が一丸となって取り組みます。
- 相手を思いやる気持ちや、多様な見方・考え方を受け止められる広い心を育む取組を進めます。
- いじめ等の発生に気付いた時には、的確・迅速・丁寧に対処し、教職員はもちろん保護者・地域、関係機関とも協力・連携し、問題解決に向けて取り組みます。

いじめ等の未然防止

- ・お互いを認め合う風土の醸成
- ・異学年交流の充実
- ・学ぶ楽しさを実感できる「わかる・できる」授業
- ・安心して過ごせる環境づくり

「笑顔あふれるあったかい学校 新琴似！」
心豊かな子・たくましい子・かしこい子
やさしい子・進んで学ぶ子

いじめ等の早期発見

- ・教職員の感度を高くし、情報をキャッチ
- ・アンケートの活用
- ・個にあった指導の充実
- ・児童・保護者との信頼関係づくり
- ・相談・対応の組織の強化

いじめ等への対応

- ・組織での迅速かつ的確な状況判断と対応
- ・いじめを受けた児童・家庭への対応・連携
- ・いじめを行った児童・家庭への対応・連携
- ・再発防止に向けた見守りと検証

1. いじめの基本認識

(1) 「いじめ」とは

「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義されています。（いじめ防止対策推進法）

本校では、下記の態様が見られた場合には、いじめとして対応を進めていきます。

- *冷やかしかやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- *仲間外れ、集団による無視をされる。
- *軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- *ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- *金品をたかられる。
- *金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- *嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- *パソコンや携帯電話、スマートフォン等で誹謗中傷や嫌なことをされる。

（国の「いじめ防止等のための基本的な方針より」）

(2) いじめ防止におけた基本的理念

「いじめは、全ての児童生徒に関係する問題である。いじめの防止等の対策は、全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることを旨として行わなければならない。また、すべての児童生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないよう、いじめの防止等の対策は、いじめが、いじめられた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることについて、児童生徒が十分に理解できるようにすることを旨としなければならない。加えて、いじめの防止等の対策は、いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。」と、国の「いじめ防止等のための基本的な方針（抜粋）」には記されています。

札幌市では下記のいじめ防止のビジョンを掲げ、全市でいじめ防止に取り組んでいきます。

学校・家庭・地域総ぐるみで

いじめは「しない・させない・許さない」を徹底

本校では、この基本理念をもとに、「いじめはどの学校でも、どの学級でも、どの児童にも起こりうる」という基本認識に立ち、いじめの定義やいじめ防止基本法を理解し、学校がいじめ防止等の対策のための校内組織を作り、いじめの未然防止・早期発見・対処の取組を組織的に進めていきます。

(2) いじめ等の未然防止(自殺防止に関わる取組の強化)

いじめ(自殺)を未然に防止するためには、一人一人の心を豊かに育むことが不可欠です。一人一人が安心して過ごせる集団や環境づくりに取り組んでいきます。

①豊かな心を育む教育活動

- ・一人一人の児童が「自分は大切にされている」と感じる関わりを行う。
- ・行事等では、めあてを明確にして、参加意欲やチャレンジ精神を高揚させることで、自分の成長や達成感を感じられるよう振り返りを行う。
- ・あいさつを交わし、相手を尊重した言葉遣いや接し方を学ぶ。
- ・児童活動やふれあい活動を通して、いろいろな人と関わり、人間関係をつくる力を育てる。
- ・自他の命や心情を尊ぶ道徳学習を推進する。
- ・学習や活動を通して、お互いを認め合い、多様な見方・考え方に気付き、それを認め合える関係づくりを大切にする。
- ・インターネットやSNSの正しい使い方を学ぶNetモラルの学習を参観日に実施し、保護者にも理解していただき、家庭でも指導に役立てていただく。

②安心して過ごせる環境づくり

- ・一人一人の思いに寄り添い、個にあった継続的な指導にあたる。
- ・相談支援パートナー・学びのサポーター・SC・SSW等と連携し、指導の充実を図る。
- ・落ち着いた学級・学年経営ができるよう、学習規律や学校のルールを確立し、指導を徹底させる。
- ・情報共有を心がけ、全教職員で全児童を育てる視点に立ち、指導を行う。

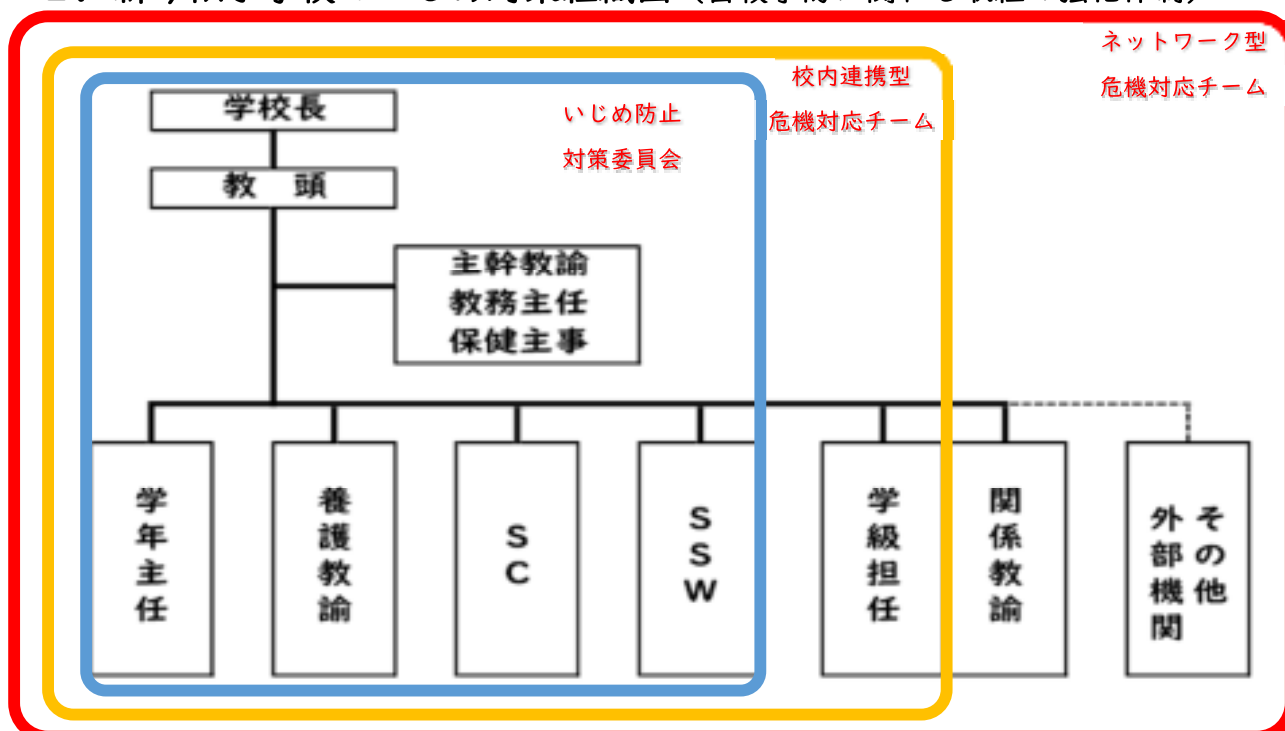
(3) いじめ(自殺危機)の早期発見

6月の『楽しい学校生活を送るためのアンケート』と11月の『悩みやいじめに関するアンケート』を実施することで、子どもの不安やいじめの状況を把握していきます。アンケートはもちろん、チェックリストを活用しながら、日常の子どもの姿から「いじめのサイン」(資料①)に気付き、早期発見に努めていきます。また、いじめの兆候を見聞きした教職員が、いじめの兆候を安易にとらえず、また一人で抱え込まず、事実を共有できる体制を確立します。

(4) いじめ(自殺)の早期対応

いじめ(自殺)発生時には、校長をリーダーに、当該児童の安全・安心の確保を最優先として、迅速かつ慎重に組織的対応を行います。(4. 対応フロチャート、5. 基本的対応参照)当該児童(自殺の場合は含まない)や関連児童等からの情報をもとに、状況を的確に把握し、今後の対応策について組織で検討・指導・見守りを行います。合わせて保護者との連携も密にして、学校と家庭が一丸となっていじめ解消に向けて取組を進めていきます。

2. 新琴似小学校のいじめ対策組織図（自殺予防に関わる取組の強化体制）



3. 新琴似小学校のいじめ（自殺危機）対策会議

(1) いじめ等防止対策会議【定例】

通常時、下記の通り開催し、いじめ等に対する感度を高め、未然防止に努める。

①会議日

- ・定例会として位置づけ、月に1回行う。

②構成員

- ・定例会は、『2. 新琴似小学校のいじめ等対策組織図』の、青枠内を構成員とする。
- ・自殺危機・未遂事案が発生した場合、校内ではオレンジ枠内の構成員を核とする。その上で校長のリーダーシップの下、赤枠内の教育委員会や専門家、関係機関のサポートを受けながら全職員の力を集結して対応。

③検討内容

- ・定例会では、「いじめ」に関する情報や児童の様子について情報共有を行う。また、アンケート等の結果を集約し、対応策を取りまとめる。

(2) いじめ対策会議【緊急時】

いじめの発見があった時には、緊急時として開催し、早期解決に向けた対策会議を行う。

①会議日

- ・発見時に開催し、その後、必要に応じて開催する。

②構成員

- ・緊急時は、『2. 新琴似小学校のいじめ対策組織図』赤枠内を構成員とし、必要に応じて外

部機関に協力を要請する。

③検討内容

- ・把握したいじめについて、状況の報告、情報の整理等を行い、問題解決に向けた対応策や今後の取組について検討を行う。

(3) 自殺・未遂事案発生時【緊急時】

①会議日

- ・発見時に開催し、その後、必要に応じて開催する。

②構成員

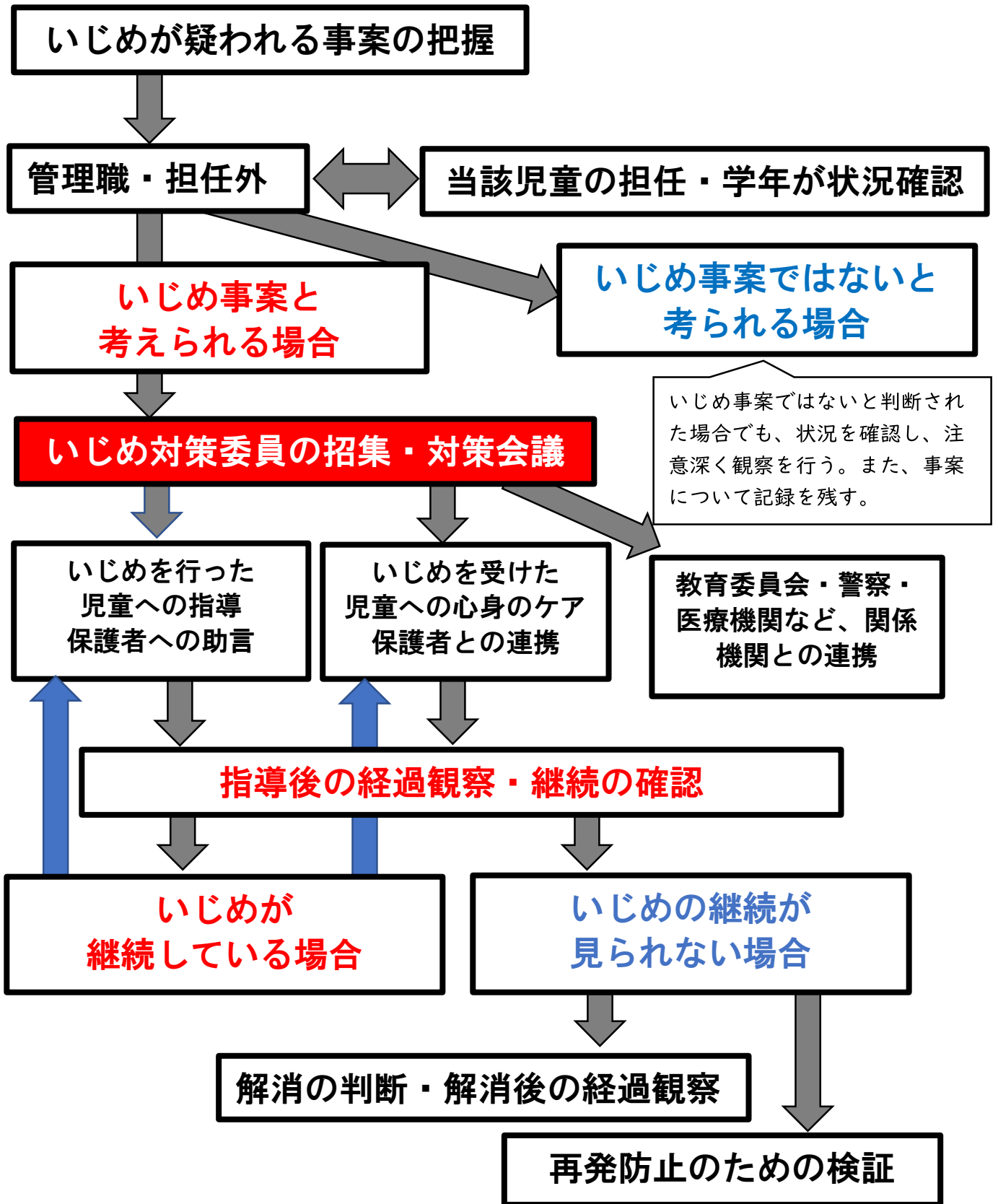
- ・緊急時として「校内連携型危機対応チーム」を招集し、早期対応に向けた対策会議を行う。
- ・同時に、「校内連携型危機対応チーム」を核として、教育委員会、専門家、関係機関との連携・協働に基づく「ネットワーク型緊急支援チーム」を立ち上げ、周囲の児童や教職員等への心のケアも含む危機管理体制を速やかに構築する。

※速やかに教育委員会に連絡をする。

③検討内容

- ・事案について、アセスメントに基づいて対応方針や役割分担を決定し、緊密に「報告・連絡・相談」を行う。対応・問題解決等に向け今後の取組について検討を行う。

4. 新琴似小学校のいじめ事案に対する対応フローチャート



5. 新琴似小学校のいじめ等事案に対する基本的対応

(1) いじめの疑いのある事案の把握・事実確認

- ・把握した教職員から、当該児童の担任・学年主任への連絡、管理職・担任外への連絡（いじめのサインと思われる言動・いじめについての噂・本人からの訴え 等）
- ・事実関係を確認するための情報収集と情報整理

(2) いじめ対策委員の招集・会の開催 *すべてを記録化する。

①事実関係の把握・緊急対応

- ・事実確認のための役割分担（複数での対応）
- ・関係児童からの聞き取り・記録

②把握した事実から、今後の対応についての検討、指導

【いじめを受けた児童】

- ・安全・安心の確保、心のケア（SCとの連携）

【いじめを行った児童・傍観していた児童】

- ・事実の確認とともに、いじめ事案になった背景をさぐり、それを踏まえた指導を検討
- ・相手の心情の理解を深めるとともに、自分の行動を振り返り、責任を自覚させる指導を学年協働で実施
- ・いじめ事案を振り返り、自分の取るべき行動についての反省を促し、児童の関係修復に向けた行動（謝罪等）についての対応を促す。

【それぞれの保護者】

- ・事実について伝達し、対応等について丁寧に説明を行う。
- ・適切かつ迅速に対応していく。

【関係機関への報告・連絡・相談】

③経過観察

【解消におけた経過観察】

- ・児童の関係について注意深く観察し、その様子をいじめ対策委員会で情報共有する。
- ・必要に応じて、保護者とも連携を図り経過について情報の伝達を行う。
- ・児童の変容を見取り、声掛けを行う。

【いじめの解消】

- ・3か月以上の経過観察ののち、被害児童・保護者との面談を踏まえ、経過をいじめ対策委員会で検証し、慎重に判断する。

【いじめが解消されていない場合】

- ・加害児童・傍観児童に対し、さらなるいじめ防止の指導
- ・場合によっては、いじめを行っている子どもへの出席停止措置を講じ、保護者に対し措置に対する説明を行う。

(3) 再発防止に向けた検証

- ・事案を整理し、どのようにすれば早期発見・未然防止につながったのかを、事例検証し、再発防止に向けた取組を強化する。

緊急対応の必要性がないと判断された場合でも、児童からの聞き取り・保護者連絡等を行い、経過について注意深く観察し、事案について記録を残す。

資料①【いじめ等のサイン チェックリスト】

《登校前（家庭）》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。 <input type="checkbox"/> 朝になると体の調子が悪いと訴え、学校を休みたがる。 <input type="checkbox"/> 食欲がなく、口数が少ない。 <input type="checkbox"/> 遅刻することが増えた。	・家庭との連携（情報共有）

《登校～朝の会》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> みんなよりも早く登校する。 <input type="checkbox"/> 時間ぎりぎりに登校する。 <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない遅刻や欠席が多くなる。 <input type="checkbox"/> 担任が教室に来るまで、廊下などで待っている。 <input type="checkbox"/> 担任との挨拶や出席確認の返事が小さい。 <input type="checkbox"/> 沈んだ表情や緊張した様子が見られる。	・家庭との連携（情報共有）

《授業時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 1人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> 授業のはじめに用具が散乱している。 <input type="checkbox"/> 忘れ物が多くなる。 <input type="checkbox"/> グループ決めの時などに話に入れない。 <input type="checkbox"/> 係決めなどの時、特定児童の名前があがったり、ふざけ半分に推薦されたりする。 <input type="checkbox"/> 教師が当該児童を褒めると、嘲笑や揶揄が起こる。 <input type="checkbox"/> 正しい意見なのに、野次や笑い声などが出て支持されない。 <input type="checkbox"/> 発表回数が少なくなり、活発さがなくなる。 <input type="checkbox"/> 掲示板の作品や机などに落書きやいたずらをされる。 <input type="checkbox"/> 配付物を配る時、当該児童に渡すのを嫌がる。 <input type="checkbox"/> 理科実験などで後片付けをやらされている。 <input type="checkbox"/> 道具や器具を触らせてもらえない。 <input type="checkbox"/> 音楽で歌えなかったり、演奏できなかったりする。 <input type="checkbox"/> 常に周りを気にしている。 <input type="checkbox"/> 当該児童を見ながら、こそこそ話をしている。 <input type="checkbox"/> 不自然に机や椅子を離されている。 <input type="checkbox"/> 不調を訴え、保健室に行くことが増える。 <input type="checkbox"/> 早退が多くなる。 <input type="checkbox"/> 放課後が近付くと、そわそわしたり、元気がなくなったりする。	・誰が片付けるのかを観察する。 ・他の児童の態度や視線などの非言語表現に注視する。 ・要指導…何らかの配慮、指導を行う。 ・養護教諭と情報共有する。

《休み時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 一人でぼつんとしている。 <input type="checkbox"/> 笑顔がなく、おどおどしている。 <input type="checkbox"/> 用もないのに職員室に来る。 <input type="checkbox"/> プロレスごっこなどで技をかけられる。 <input type="checkbox"/> 教室移動時によく荷物を持たされる。 <input type="checkbox"/> 授業が始まっても教室に戻りたがらない。 <input type="checkbox"/> 保健室の来室回数が増える。	<ul style="list-style-type: none"> ・意識的に声を掛ける。 ・メンバーを把握し、記録する。 ・養護教諭と情報共有する。

《清掃・給食時間》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 給食を食べない。食欲がない。 <input type="checkbox"/> 配膳を嫌がられる。 <input type="checkbox"/> 表情が暗く、一人で黙々と清掃している。 <input type="checkbox"/> みんなの嫌がる仕事をしていることが多い。 <input type="checkbox"/> 当該児童の机や椅子が運ばれていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師も一緒に配膳したり、食べたりする。 ・周りの子の様子を観察する。

《帰りの会》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 持ち物の紛失が増える。 <input type="checkbox"/> 泣いていたり、机に伏せていたりする。 <input type="checkbox"/> 自分の持ち物ではないものが机やかばんに入っている。 <input type="checkbox"/> 教室以外の場所にいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・そのままにすることなく、よく話を聞いて対応する。一緒に探す。

《委員会活動・クラブ活動・係活動》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 残りの仕事を押し付けられる。 <input type="checkbox"/> 嫌がる仕事や大変な仕事を一人でやっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が不在の時間をつくらないようにする。

《下校時から放課後》

チェックポイント	配慮事項
<input type="checkbox"/> 机や椅子が乱れ、整理整頓ができていない。 <input type="checkbox"/> いつも教師に相談したそうに寄ってくる。 <input type="checkbox"/> かばんや持ち物が隠される。 <input type="checkbox"/> 下校が早かったり、いつまでも残っていたりする。 <input type="checkbox"/> ゴミ箱の中に持ち物が捨ててある。 <input type="checkbox"/> 荷物を持たされて歩いている。 <input type="checkbox"/> 不自然なグループで帰っている。 <input type="checkbox"/> 一人で帰る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教室の状態を確認する。 ・しっかり向き合って話を聞く。 ・保管し、次の日に話を聞く。 ・メンバーを把握し、記録する。

《下校後～就寝時（家庭）》

チェックポイント	配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 理由をはっきり言わない傷やあざがある。 <input type="checkbox"/> 学校で使う物や持ち物がなくなったり壊れていたりする。 <input type="checkbox"/> 教科書やノートなどに嫌がらせの落書きや破れなどがある。 <input type="checkbox"/> 携帯電話や SNS の着信を気にしている。おびえている。 <input type="checkbox"/> 集中力がなく、勉強しなくなる。 <input type="checkbox"/> 家からお金を持ち出したり、お金の使い方に不審な点がある。 <input type="checkbox"/> 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行かなくなったりする。 <input type="checkbox"/> 表情が暗く、家族との会話も少なくなる。 <input type="checkbox"/> 些細なことでイライラしたり、物にあたったりする。 <input type="checkbox"/> 自分の部屋に閉じこもることが多くなった。 <input type="checkbox"/> 寝つきが悪かったり、眠れない日が続いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携(情報共有)